

未来へ

美幌町立美幌中学校 1年B組 黒田 愛果

最近、交通事故を起こし亡くなる人や大けがをする人のニュースをよく見かけます。

交通事故の主な原因の多くは、「安全不確認」「脇見運転」と「動静不注意」そして、「漫然運転」となっています。

この中でもあまり知られていないのが「漫然運転」です。漫然運転とは、ぼんやりしていたり、何か他のことを考えたりすることで危険を見落としてしまう運転のことです。

前年同期と比較すると、交通事故発生状況は、発生件数、死者数及び負傷者のいずれも増加しています。

この資料を元に、改めて考えることはありませんか？

私は、増加していることに対して、悲しいし、怖いと感じます。

なぜなら、身近な人が突然交通事故で居なくなったら悲しいです。そして、自分が車を運転するようになった時のことを考えると怖いのです。このような未来への不安をなくすために、「安全運転」が必要なんです。

安全運転とは、車両を運転する際、交通ルールや常識に則って、周囲の車両や歩行者などに十分な注意を払い、事故を起こさないよう努めることです。安全運転を遂行することで、

自分自身や同乗者だけでなく、周囲の人々の安全にも貢献し、交通事故による損害や被害を減らすことにもつながります。

私が一番大事だと思うのは、「車間距離」です。理由は、追突事故の多くは二秒以内の脇見で発生するので、三秒の車間距離をとると、安全に停止できる一秒の余裕ができます。たった一秒の差で防ぐことが出来るのなら私はこの一秒を、大切にしたい。

急いでいる時やイライラしている時の運転中の心の乱れは、事故を起こす危険が大きくなります。

運転する際は、時間と心にゆとりを持つことが大切だと思います。また、交通ルールやマナーを守ることでも大切です。

普段、走りなれた道はスピードが出やすかったり、安全確認を怠ったりしてしまいます。

日ごろから、そういった危険予知出来るような運転を心がけるといいでしょう。

私は交通安全作文を書くにあたって色々なことを調べて、学びました。

事故を防ぐために、「思いやり」「そして、「ゆずり合い」の気持ちを一人ひとりが持つことで、事故が減り、多くの命を守ることが出来ます。交通ルールを守り、一人でも多くの命を救えるような未来へ。